

Workshop "The Humanities and the Public Sphere"

国際ワークショップ

人文学と公共性

2009年9月28日(月) 10:30-18:20

Monday, September 28th, 2009

東京大学駒場キャンパス 18号館 4階 コラボレーションルーム 1

Collaboration Room 1, 4F, Building 18, Komaba Campus, University of Tokyo

使用言語: 日本語・韓国語(通訳付) 入場無料、事前登録不要

10.30-10.40 開会の辞 小林康夫 Yasuo Kobayashi

10.30-12.10 セッション1「人文学と政治」

Park Jinwoo (延世大学) 「コンパッションの政治のために」(박진우, <연민(Compassion)의 정치에 관하여>)

大竹弘二 (南山大学) 「秘密、嘘、現実喪失——ハンナ・アレントと政治の機密」

13.10-14.40 セッション2「人文学の形式」

So Younhyun (延世大学) 「学術的エクリチュールの境界」(소영현, <학술적 글쓰기의 경계>)

桑田光平 (UTCP) 「ロラン・バルトと問いとしてのエクリチュール」

14.45-16.25 セッション3「人文学と植民地主義」

Lee Byunghan (延世大学) 「大衆知性時代の人文学：どこから、いかに、なすべきか？」

(이병한, <대중지성 시대의 인문학: 어디서, 어떻게 할 것인가?>)

五味渊典嗣 (大妻女子大学) 「《文学》の生存戦略——日本語文学の「昭和10年代」

16.40-18.10 セッション4「人文学と国家制度」

Kim Hang (高麗大学) 「国家と人文学、何も返さない贈与：HK (Humanities Korea) のケースから」

(김항, <국가와 인문학, 아무것도 되돌려주지 않는 증여: HK의 사례를 중심으로>)

西山雄二 (UTCP) 「国家と人文学——「新しい教養」の行方」

18.10 閉会の辞 白永瑞 Baik Young-seo

主催：東京大学グローバル COE 「共生のための国際哲学教育研究センター (UTCP)」、延世大学韓国学術研究院
Organized by UTCP (University of Tokyo Center for Philosophy) and the Institute of Korean Studies at Yonsei University